

三ヶ根駅の未来を担うプレイヤー多数!

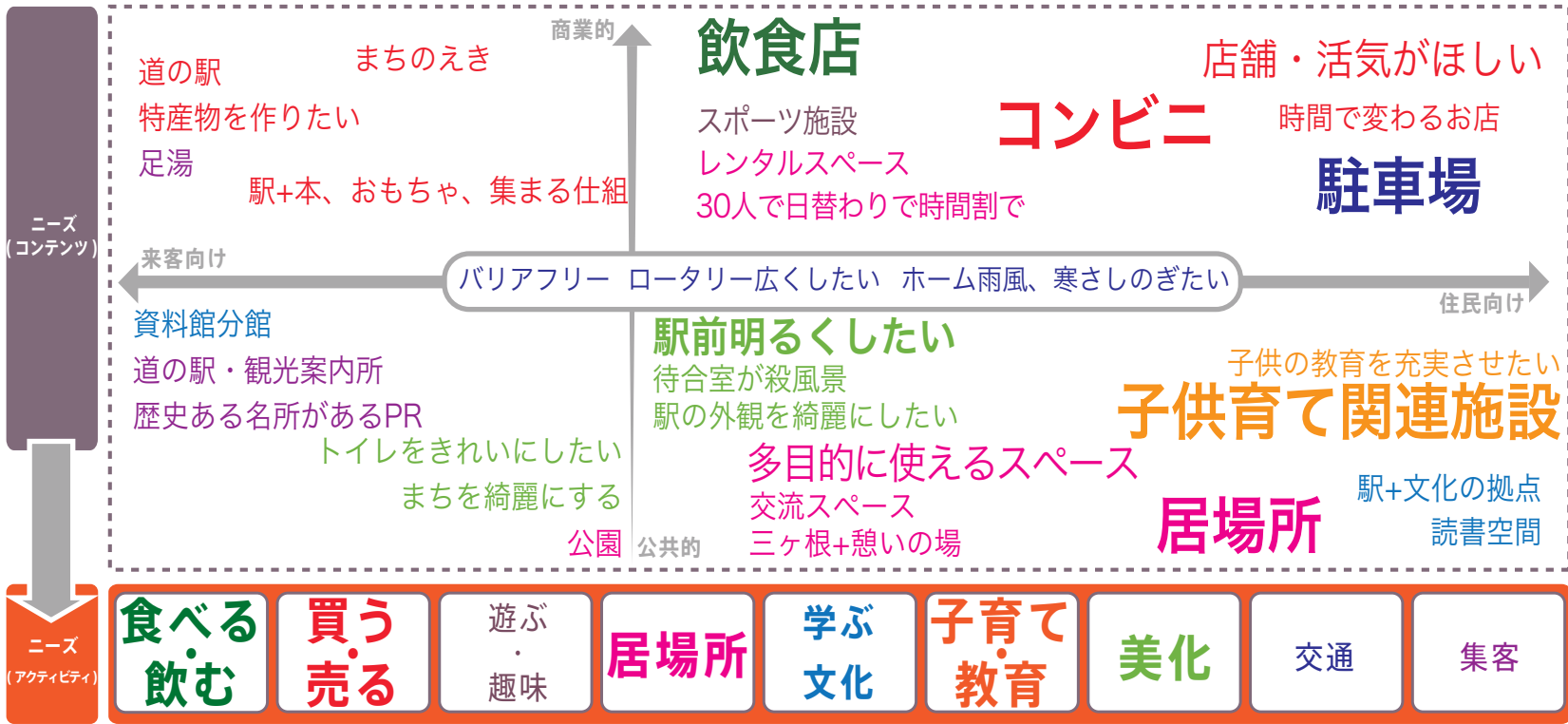


三ヶ根駅未来会議

開催日: 令和2年1月15日(水)
発行元: 幸田町役場 企業立地課

三ヶ根駅周辺のまちづくりについて、幸田町民や駅の利用者から意見を募集するべく実施されている「三ヶ根駅未来会議」も今回で第3回目を迎えた。1月18日に昼夜合わせて30名ほどの参加者のもと里中央コミュニティホームで開催された。

これまでの未来会議発議分類表



三ヶ根駅の隠れたターゲットは子供や子育て世代の非鉄道利用者

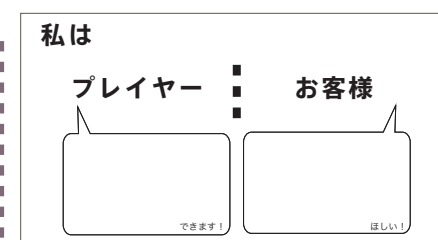
- 三ヶ根駅の優先順位番付【イチバンセン案】
- ① 駅～周辺機能との連結・バリアフリー強化
 - ② 子どもが集まる・子育て支援機能=ターゲット
 - ③ 飲食・物販 (参入しやすいもの) =プレイヤー
 - ④ 町民が多目的に利用できる貸し切り空間=ツール
 - ⑤ 新しい三ヶ根駅に関わる人づくり

第三回未来会議は今まで行ってきた2回の住民向け未来会議と幼稚園・中学校の出張版未来会議で出されたニーズの共有から始まった。上にはそこから抜粋したもの、住民向け「客向け」「商業的」「公共的」の軸で分類し、その性格から色づけしている。大きなものがニーズの高いものを表しており、飲食・購買・居場所・教育などが目立つ。

昼の部の様子、これまでのニーズ分析、優先順位への参加者からの意見を共有

見まわしてみよう、三ヶ根にはたくさんのプレイヤー・サポーター・お客様がいる!

- 三ヶ根プレイヤー宣言**
- 調理師免許があります
 - 不登校相談や学習指導、週1~2回できます!
 - マルシェなどのイベントできます!
 - イルミネーションやっています!
 - 色々なお店・商売屋さん紹介(西尾エリア)
 - 小学生に勉強を教えることができます!
 - 勉強を教えることができます!
 - イベントの企画、スタッフできます!
 - 食品ロスから子供(地域)食堂へと繋げられるよう活動しています!
 - セミナー・レッスン・教室を始められます!
 - 花屋を始めたいです!三ヶ根駅を花でいっぱいになりたい!
 - 時間はあるので参加できます!
 - 精進料理できます!
 - 屋台の出店できます!(月1回くらい)
 - 清掃活動できます!
 - 不登校児童・生徒に教員として、サポート(週何度か顔を出す)
 - ニュースポーツ教えます!(スポーツできれば)
 - お年寄りの茶飲友達になれます!
 - 雑貨(生地)テキスタイルできます!
 - 駅舎やコミュニティホーム、駅周辺のそうじ、草取り草刈りできます!
 - 色々なお店・商売屋さん紹介(西尾エリア)
 - 小学生に勉強を教えることができます!
 - 勉強を教えることができます!
 - イベントの企画、スタッフできます!



結果は左に載せている。重複する項目もあるが、多くは「新しい三ヶ根でしたいことがある!」と答えてくれたのだ。(※意見には上記表と同じ色付けをしている)食べる飲む・買う売る・子育て教育に対しての意見が多かった。半分以上の参加者からプレイヤー側での意見を聞くことができ、合わせてお客様側でいたいという意見とのバランスもよく、改めて幸田町のポテンシャルの高さを感じられた。

根強い駐車場への要望、買い物難民への不安
三ヶ根駅周辺でのまちづくり活動に対して、やはり駐車場整備への要望は今回も多く、車社会の中でのまちづくりの課題が浮き彫りとなった。それと同時に、これから高齢化が進み車に乗れなくなった時に、深溝地区には歩いていける買い物できる場所が無いので不安だという声もあった。街自体が車移動生活前提で考えられている部分もあるため、坂が多く、歩道も狭い箇所の多い深溝地区にとって見逃せない課題点だ。

今回のワークショップでは、参加者に「あなたは三ヶ根でプレイヤーとお客様どちらになりますか?」とアンケートを実施。この先、三ヶ根駅周辺のまちづくりや公共施設の運営など、行政に頼らず住民が積極的に運営に関わり、街を盛り上げていかなければならない状況となった時に、プレイヤーとしてまちづくりに関わって頂ける住民がどれくらいいるのか、住民主体で行うまちづくりを三ヶ根駅周辺で行うことが可能であるのかを探る重要なアンケートだ。

町民と行政が互いに依存しないまちづくり
夜の部にはサラリーマンや学生、役所の方にも参加していただいた。同様にアンケートをとるとプレイヤーにはなれないけどサポーターとして役所の書類関係手伝えますよ、という声を上げてくれる役所勤めの方や、小学生に勉強を教えられるよ、お店やりたい人を見られるから資金面サポートできるよ、と学生や某信用金庫の方などからバックアップが出来るという嬉しい声も多数あり、プレイヤーだけでなくそれを支えるサポーターも幸田町にはいることが分かる会となった。成瀬町長も夜の部に見学に来ており、参加者からの質問に答える場面もあった、住民と行政がお互いに作り始めたいことを言い合いつながりながら新たなまちづくりの形を作り始めていく気配を感じる会となった。

FACEBOOK
未来会議ページへ、いいね!もお願いします



夜の部に参加した成瀬町長が参加者への質問に答える場面もあった